

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あらかわプラス竜王教室（放デイ）		
○保護者評価実施期間	R8年3月2日		～ R8年3月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	R8年3月2日		～ R8年3月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月16日		
○分析結果			
	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	二つの部屋の特性を生かし、活動を効果的に展開することができている。	子どもの状況に応じて、個別活動集団活動を適宜組み合わせ、必要に応じて活動内容に柔軟性を持たせている。	引き続き、安全で効果的な環境づくりに努めていく。
2	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保し、意欲的に参加している。	内部外部問わず、積極的に研修の機会に参加している。	引き続き、職員の資質向上を行えるよう、積極的に研修に参加していく。
3	職員間のコミュニケーションを積極的に図り、情報共有に努めている。	日々子どもの発達や課題に対して共通理解に努めている。	引き続き、情報共有を大切にしていく。
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参画することが難しかった。	日々の業務に翻弄されていた為、時間調整が上手くいっていなかった。	業務改善について検討する時間を意識的に作っていく。
2	課題を決めた細やかな活動計画の検討が難しかった。	計画を立てる時間確保が課題。	職員間で、活動計画について話し合う時間づくりを意識して行っていく。
3	保護者同士の連携について。	保護者支援の視点も大切にしていくことが、今後の課題。	保護者支援に取り組めるような職員間の話し合いの場を設けていく。